いたばし学び支援プラン（板橋区教育振興推進計画）第3期を策定しました

「いたばしの教育ビジョン」に示した理念の実現に向けて、家庭・学校・地域での教育力の向上をめざし、具体的な施策を推進する「いたばし学び支援プラン（板橋区教育振興推進計画）第3期」（以下「本計画」）を策定しました。今日は本計画の概要をお知らせします。

問　合
庶務課経理係
☎3579－2606

本計画の進め方

平成27年度までの期間を3期に分けて、「いたばしの教育ビジョン」に基づき、5つの柱（主体）に事業を体系化し、172の事業を実施します。

8つの重点施策と重点事業

「いたばしの教育ビジョン」の5つの柱の関連性を踏まえて、区教育委員会が力点を置き、優先的に実施すべき重要な施策として、8つの重点施策と30の重点事業を掲げました（左表参照）。

閲覧できます

本計画とパブリックコメント（意見）の概要とそれに対する区の考え方の全文は、教育委員会庶務課（区役所8階③窓口）・区政資料室（区役所2階④窓口）・区立各図書館・区ホームページでご覧になれます。

《8つの重点施策と重点事業》

重点施策	重点事業
豊かな心と健やかな体の育成	●環境学習の充実 ●体験活動の充実 ●キャリア教育の充実 ●体力づくりの推進 ●個に応じた特別支援教育の充実 ●自分を守り、相手を大切にする教育の推進 ●不登校対策の推進
確かな学力の育成	●確かな学力を定着させるフィードバック学習方式の整備・拡充 ●科学教育の充実 ●魅力あふれる質の高い授業の実現 ●外国人指導員による英語教育の充実
読書活動の充実	●学校図書館の充実 ●家庭での読書推進の意識啓発 ●地域における読書活動の推進
教員の指導力向上	●教育支援センターの整備・推進・開設 ●課題別研修の充実 ●保幼小中連携教育の推進 ●板橋区版指導計画の活用 ●優れた実践例の発信
家庭における生活習慣の形成支援	●「小学校入学前に身につけたい10の生活習慣」チェックシートの配付 ●年齢別の親学講座の実施
地域人材による学校・家庭支援の促進	●板橋区版放課後対策事業“新あいキッズ”の推進 ●学校支援地域本部事業の拡大 ●生涯学習センター（仮称）の設置検討
安心・安全で魅力的な学校環境の整備	●魅力ある学校づくりの推進 ●教育のICT化の推進
教育委員会の改革	●区民が身近に感じる教育委員会の実現 ●PDCAサイクルの実践による効果的な事務事業の実施 ●職員の意識改革の推進 ●次期「いたばしの教育ビジョン」等の検討

「いたばし学び支援プラン（板橋区教育振興推進計画）第3期」中間のまとめに対する意見の概要と区の考え方（抜粋）

▽意見の件数＝45件（8人）

意見の概要	区の考え方
これからの教育においてICTは不可欠なものだと思います。そのための環境整備を推進していくとのことですが、まず実際の授業において、どの教科でいかにICTが有効に活用できるかという検証を行ってから、いろいろな機器の導入をするようにしてほしいです	平成27年度に開設される「教育支援センター」において、教育ICTのあり方についての実験実証を予定しています。その結果を踏まえて、機器や授業利用の検討を行います
フィードバック学習教材を、学校・家庭・放課後学習教室で活用していくことは効果的であると思います。準備にとどまらず、活用の機会や時間をセットで考える必要があると思います	小・中学校での補習授業の利用、あいキッズや寺子屋事業・学校支援地域本部事業などでの活用に取り組み、機会と時間の確保に努めます
子どもたちに望ましい生活習慣を身につけてもらうためにも、親学講座を実施することは必要と考えますが、講座を受講する家庭は、そもそも受講する必要のない家庭の方ではないでしょうか。時間に余裕のない家庭や周りに関心のない家庭にスポットを当てた親学講座を開催することが効果的だと思います	ご意見のとおり、事業に参加しない・できない家庭に対する効果的な取り組みについて研究し検討します
子どもの体力について、個人差が顕著に目立ちます。少年少女スポーツクラブや部活動への参加を推進し、ボランティアチームへの支援を積極的に行ってほしいと思います	関連各課や協力スポーツ団体と連携を図り、児童・生徒の体力づくりに取り組んでいきます
学校支援地域本部事業の拡大について、学校が児童・生徒の学習の場としてだけではなく、地域コミュニティの再構築の場、高齢者の生きがいの場となることは、学びの循環ができ、区がめざす維持継続可能な教育の実現がなされることと考えます。したがって、スピード感を持って、学校支援地域本部事業の拡大と地域コーディネーターの育成を実現しなければなりません	区教育委員会では、学校支援地域本部事業を実施計画に位置付け、取り組んできました。今後も可能な限り、速やかな実施校の拡大と事業の拡充に取り組んでいきます

平成25年度 板橋区青少年表彰

2月1日に区立文化会館小ホールで表彰式が開催され、個人28人・団体9団体が表彰されました。

青少年表彰は、他の模範となる善い行いをした青少年を表彰することで、青少年の親切な行いや奉仕活動などに対する気運を醸成し、健全な育成に役立てることを目的としています。

◉受賞事例の紹介（抜粋）

▽個人

●昨年1月18日、部活動のランニング中に、犬の散歩をしていた女性が雪で凍結した路面で転倒し、動けなくなっているところを発見。意識および容体を確認した後、近くにいた方に携帯電話を借りて119番通報した。救急車が来るまでの間、雪の上に膝をつき、両手で頭を支えるなどして女性を寒さから守った。また、一緒にいた犬を女性の知り合いの家まで届けた（高校生4人）。

●昨年3月10日の夜、強風が吹く中、風で飛ばされた看板が道路の中央付近に放置されていた。このままにしておくのは危険と判断し、自らの危険があったにも関わらず安全な場所まで運び、車両事故などの大事故になる危険を未然に防いだ（中学生4人）。

▽団体

●10年以上前から、高齢者福祉施設を年2回訪問し、歌や寸劇を披露したり、肩たたきやお話ししたりしている。また、近くの保育園とも交流し、園児と一緒に歌や踊り、ゲームなどをしている。この他、校舎の前にある海岸を清掃するなど地元に貢献している（小学生団体）。

▽問＝生涯学習課青少年係☎3579－2488

東京都教育委員会から

大原社会教育会館の「IT学習室サポート」に感謝状が贈呈されました

区立幼稚園、小・中学校のICT学習を8年間にわたり支援してきた大原社会教育会館の「IT学習室サポート」に、東京都教育委員会から、学校教育支援部門の感謝状が贈呈されました。

◉区民が学び合い・教え合う活動

大原社会教育会館の「IT学習室サポート」は、約200人のシニア世代を中心としたボランティアのスタッフが、当館の他、ふれあい館やいきいき寺子屋などのパソコンを使った講座の企画・運営・指導を行っています。

特に子どもたちへの学びの支援を通して、世代間交流の促進とシニア世代の生きがいづくりに寄与しています。

〈学校支援〉

ICTを使った授業支援では、児童・生徒と同じパソコンソフトを使うなど、指導方法を研究しています。また、子どもの支援に関心のある方向けに「ICT学校支援スタッフ養成講座」を行っています。ぜひ、ご参加ください。

《いずれも》

▽問＝大原社会教育会館☎3969－0401〈第3月曜休館〉

学びを通してつくる世代を越えたつながり

毎月23日は板橋区家庭読書の日

小学生のみなさんのために「平成26年度みなさんにおすすめしたい本」のリストを作成しました。親しみやすく楽しく読める本です。区立各図書館にリストと一緒に本を揃えています。ぜひ、ご利用ください。

▽対象・題名

●低学年向け…「地球をほる」（絵本）、「ちょっとだけタイムスリップ」（物語）ほか48冊

●中学年向け…「風をつかまえたウィリアム」（絵本）、「かあちゃん取扱説明書」（物語）ほか47冊

●高学年向け…「暗やみの中のきらめき　点字をつくったルイ・ブライユ」（知識）、「林業少年」（物語）ほか48冊

▽問＝中央図書館☎3967－5261〈第3月曜・月末日休館〉

学校の授業を見に来ませんか

区立小・中学校では、「地域に開かれた学校づくり」を推進しており、保護者・地域のみなさんに学校を公開しています。日程など詳しくは、各学校のホームページでご確認ください。

▽問＝各学校（「わたしの便利帳」参照）または指導室指導主事☎3579－2643

教育広報への意見募集　より良い広報紙作成のため、みなさんからの意見・提案を募集します。

▽提出方法＝郵送・FAX・Eメール▽問＝庶務課庶務係（〒173－8501）☎3579－2603FAX3579－4214kyosho@city.itabashi.tokyo.jp